

あゆみ学園だより

2023年3月号

福岡市社会福祉事業団
福岡市立あゆみ学園

三月を迎えて日差しは暖かくなってはきましたが、朝夕はまだまだ冷えます。体調を崩しやすい時期でもありますので、油断されずお過ごしください。

年長さんは卒園が近くなりました。最近、担任から「〇〇ちゃんは、△△が出来るようになったんですよ」という報告をよく聞きます。年長のこの時期に、まさに、小さいころからの毎日の積み重ねの成果が見えてきたようです。あのイチロー選手の名言に「小さなことを積み重ねることで、いつの日か信じられないような力をだせるようになっていきます」があります。イチロー選手のパフォーマンスも「小さな積み重ねの成果」だったのですね。簡単なようで難しいのが「積み重ね」ですが、これまで、保護者の方と、職員とで積み重ねてきた小さなことが、まさに今、子どもたちの目に見える成長に繋がったのかと感じます。

卒園するお友達も、継続してあゆみ学園に通うお友達も、昨日を今日に、今日を明日に繋げたいですね。

今年度も残りわずかとなりました。子どもたち、保護者の方々とお過ごさせていただいた時間は、私たち職員にとってもかけがえのないものです。感謝しております。ありがとうございました。
園長 加治木ちさ子



行事予定



10	金	避難訓練
17	金	お別れ会（ぱんだ・きりん・ぞう） 月例保護者会 グループ懇談（りす・ぞう）
23	木	親子最終通園日 短縮保育（14：15降園）
24	金	卒園式（ぞう）

今のグループで過ごすのも残りわずかとなりました。この1年を振り返り、一人一人の成長していく姿を日々の生活やあそびの中で見ることができ、その瞬間に携わることができ、子どもたちと過ごした日々感謝の気持ちでいっぱいです。わかった、できた時のなんとも嬉しそうな表情、楽しい、嬉しい時の満面の笑み、いや、悲しい時の泣き声や怒った声…どんな姿もこころの成長に必要です。気持ちを伝えることは、たくさんの人と共に過ごす上でとっても大切なことだと感じています。

4月からはそれぞれに新しい環境や出会いが待っています。ドキドキしますが、一緒に過ごすたくさんの大人や友だちと、気持ちを伝え合い、歩いていってほしいと思います。

ご入学、ご進級、おめでとうございます。
保育士 平良 なおみ

入園した当初はまだ療育がどういうものかもわからずスタートした通園ですが、親子通園を重ねる中で娘も私自身もたくさんの学びがあった5年間でした。

年長グループになった今、お名前呼びで返事が出来たり大きな声で笑ったりする姿が、入園当初には想像もしていなかった事であゆみ学園での5年という年月が娘にとってとても意味のあるものだったんだと改めて実感しています。

あっという間に卒園の時期となり慣れ親しんだこの場所や先生方と離れるのはとても寂しいことですが、これまであゆみ学園で過ごしてきた日々を糧としてまた新しい環境でも元気で楽しく学校生活を送ってくれる事を期待しています。本当にありがとうございました。

ぞうグループ保護者代表

